



令和6年度全国学力・学習状況調査の結果について

4月18日に3年生を対象として実施された「全国学力・学習状況調査」の結果、分析、今後の授業の取組についてお知らせします。

《国語に関する分析》

- ・擬人法、比喩、体言止めなどの表現方法が身に付いている生徒の割合は高い状況です。
- ・視点を変えて作文を書いたり、短歌を読んで想像を働かせたりすることが苦手な生徒が多い傾向です。また、自分の考えを文章に書き表せないことによる無回答も目立ちます。
- ・話し合い場面では、誰がどのような意見なのか、それが「意見」なのか「事実」なのか、さらに「具体例」と「理由」を見分けることを苦手になっている生徒も見られます。

《今後の取組》

- ・字数や立場など、条件を決めてまとめや振り返りを書く機会を増やします。また、それが論理的な文章になるように添削します。
- ・説明文、論説文、物語文など、それぞれの文章の種類に応じた読み方を指導します。
- ・読書を勧め、日頃から正確な文章表現を意識させます。(漢字や敬語の使い分けなど)

《数学に関する分析》

- ・「数と式」「データの活用」の正答率は全国平均を下回りました。
- ・特に、「数と式」は、小学校期からの基礎的な計算力が影響します。また、数学的な表現を用いた説明にも苦手傾向があります。
- ・「データの活用」は確率に関する問題でした。データを読み取る力が求められます。

《今後の取組》

- ・「課題の把握→自力解決→学び合い→まとめ→振り返り」の学習サイクルを重視します。
- ・毎時間の学びを次の学びにつなげていけるように促します。自力解決の見通しを持たせるようにし、それが難しいときは、全体で教えあったり確認しあったりして「わかる」を実感できるようにします。

上記は3年生の傾向ですが、すべての教員が、すべての学年で、すべての教科において「言語環境の整備」と「論理的な課題解決」の力を育ていける授業づくりを進めていきます。

地域と共に学び、地域と共に育つ ～夢・未来・南浜プロジェクト発表&合唱コンサート～

11月2日に行われた松風祭では、総合的な学習の時間「夢・未来・南浜プロジェクト」の発表及びプレゼンテーションと合唱コンサートをを行いました。どの学年もその学年らしさを発揮した地域とともに歩む発表や活動を紹介することができました。

また、合唱コンサートでは、学年合唱も全校合唱も本当に素晴らしい歌声を響かせてくれました。大勢の保護者・地域の皆さんからご来校いただいたことに感謝申し上げます。

さて、松風祭に関しては皆さんにアンケートへの協力をお願いしました。当校は、「地域と共に学び、地域と共に育つ生徒の育成」を目指しています。学校は地域の方からも学ぶ場、地域の皆さんにとっても互いに、そして子どもから学ぶ場であってほしいと思います。今後も、皆さんからのご意見や励ましを子どもたちに還元し、新たな活動、さらなる学びに繋げていきます。



◆保護者や地域の方の「生徒や自分自身の学び」に関する感想

新潟市にもジェンダーの悩みを抱えている人が多いことを知りました。様々な窓口があることもわかり、自分の理解が深められて良かったです。

一人では学校行事に行くことにためらいがありますが、「地域の茶の間」として参加できたことで学校を知ることにもつながり良かったです。



皆さんの作った商品を購入することができて良かったです。毎年楽しみにしています。歌声では「HEIWAの鐘」に感動しました。ありがとうございました。

身の回りのことから、グローバルな問題へ、それからまた自分事・地域の事としてまとめてあることに感心しました。



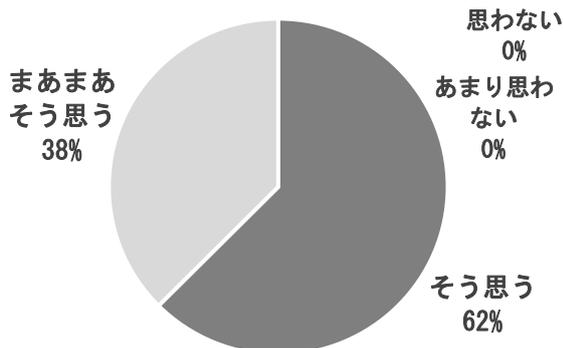
学びや体験から地域を知り、課題を見つけ、解決に向け考え、行動する。とても素晴らしいと思います。一生懸命発表する姿が素敵でした。



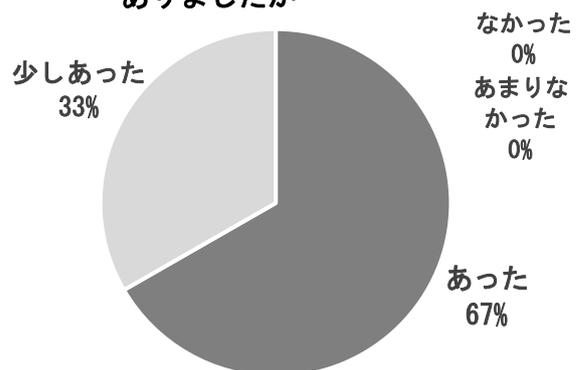
大勢に注目されながら一生懸命そば打ちをする姿が印象的でした。オークション等、楽しい体験ができました。

◆参加者のアンケート結果から

Q1 発表は地域を大切にしましたか



Q2 地域の人にも新たな学びがありましたか



アンケートに回答していただいた皆様、ご協力いただきありがとうございました。